

いけんひろば

わかもの わかもの はか はか
こども・若者の幸せの測り方
—こどものウェルビーイングとは—
フィードバック資料 しりょう

れいわ れいわ かいさい
令和6年11月7日（オンライン開催）

令和6年11月9日（対面開催）

2024年度こども若者★いけんぷらす

1. 開催概要（オンライン・対面）

テーマ	こども・若者の幸せの測り方—こどものウェルビーイングとは—
担当省庁	こども家庭庁
テーマ説明	<p>みなさんは普段、「楽しいな」「つらいな」など、いろいろな気持ちになることがあるかもしれません。また、自分が幸せに生活を送れているか、考えることもあるかもしれません。こども家庭庁では、こどもの幸せ（こどものウェルビーイング）のため、「こどもが幸せに生活を送れているか」がデータからしっかりとわかるように、こどもの幸せの測り方をこども・若者のみなさんと一緒に考えたいと思っています。</p> <p>その上で、このいけんぷらすでは、こどもの幸せのよりよい測り方について考えていくために、（１）そもそもこどもの幸せとは何なのか、（２）こども・若者の幸せの測り方について、みなさんの普段の気持ち・経験から考えていきます。みなさんの日々の「楽しいな」「つらいな」「もっとこうだったらいいな」「もっと大人にこうしてほしい」など、普段の気持ち・考えをぜひ聴かせてください。</p>



	オンライン回	対面回
参加対象者	10～20歳のぷらすメンバー	
開催日時	令和6年11月7日（木）19:00～21:00	令和6年11月9日（土）14:00～16:00
開催場所	Webex	こども家庭庁
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グループ①・・・小学生・中学生 3名 ➤ グループ②・・・高校生・大学生年代 5名 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グループ③・・・小学生 4名 ➤ グループ④・・・中学生・高校生年代 5名 ➤ グループ⑤・・・大学生年代 5名

2. いただいた意見の活用について



・いただいた意見は、意見そのものと、意見をまとめた結果の両方を専門家の意見交換会（2025年2月25日、2月27日）の資料としました。

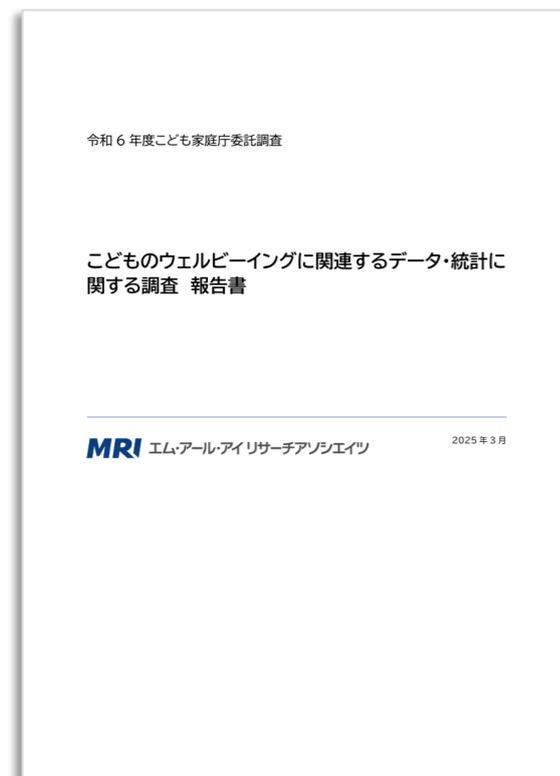


・また、調査の報告書(※)にも掲載しました。

反映先資料

※調査の報告書は、以下に掲載しました。

[こども政策に関する調査研究事業 | こども家庭庁](#)（調査名「こどものウェルビーイングに関連するデータ・統計に関する調査」）



3. こどもの視点や意見の把握

3.3 ヒアリング結果

図表 30 ア. 幸せを感じる状況 主なこどもの意見(抜粋)

カテゴリ	主なこどもの意見(「ア. 幸せを感じる状況」)
A アウトカム	
A1 物質的アウトカム	
旅行での体験・経験(ア-01)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅するのが好き。歩くのが好きだから、少しらしい距離なら歩いてしまふ。旅に出かけたときは、色々なものを食べる。(③) ・この施設では合宿がある。その合宿がすごく楽しい。スキー合宿は自分で行こうと思ってもお金がかかるし、準備が大変で行けないが、この施設では企画してくれてお金を払うだけで行ける。一年に一回、スキー合宿でしか滑る機会がないので楽しみ。(⑧) ・「わくわく/うれしい/たのしい」の全部に当てはまるのが旅行。自分の家と違うところに泊まったり遊んだりすることがいいなと思う。よく中絶に行かせてもらうが、そのときにふだんと違う発見をしたりホテルの部屋など違う環境で過ごすことはそう感じる。(⑨)
旅行での体験・経験(ア-02)	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験が楽しかった。(①) ・年明けにラーケーション(自主学習のための休暇)を使って海外のテーマパークに行く予定があり、とても楽しみ。(①) ・博物館に行ったとき。(③) ・動物園・水族館に行ったとき。(③) ・バーベキューをしたとき。(③) ・カッコいい電車に乗ったとき。(③) ・キャラクターの施設に行ったとき。(③) ・誕生日パーティーをするのもされるのも幸せを感じる。ドッキリなどを仕掛けるのが面白い。(③) ・いろんな経験をしているとき。わくわくするから楽しく幸せ。(⑦)
欲しいものを買ったとき(ア-03)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを買ってもらって嬉しかった。(①) ・好きなものを買ってもらったとき。ずっと欲しいなと思っていたものをただでもらえてうれしく、幸せを感じる。(⑧)
お小遣いをもらったとき(ア-04)	<ul style="list-style-type: none"> ・草むしりをしたとき。お小遣いをもらえるから。(③) ・おこづかいをもらったとき。(③)
A2 身体的健康アウトカム	
身体健康状態が良いこと(ア-05)	<ul style="list-style-type: none"> ・風邪をひいている、熱があるなど体調の悪いときは、自分の思ったことができないのが嫌なので幸せではないと感じる。調子が悪くなければここまでできるのにと思ったりする。(⑦) ・健康なとき(⑤)
A3 社会的、情緒的、文化的アウトカム	
安心、安全が守られているとき(ア-06)	<ul style="list-style-type: none"> ・瞑想すると落ち着いた気持ちになって安心できる。(②) ・つらいときにやさしくしてもらったとき。つらいときに寄り添ってくれる人がいることは幸せ。見捨てないで一緒にいてくれることは幸せなことなんだと感じる。(⑨) ・身体的精神的に危害を加えられる恐れがないとき。(⑤)

報告書の以下に掲載！

第3章.
こどもの視点や意見の把握

第4章.
調査のまとめ

資料編3.
「こどもの視点や意見の把握」において得られた「いけんのまとめ」

2. いただいた意見の活用について



・いただいた意見を、分類わけして資料にまとめることで、
こども・若者の幸せの考え方を知ることができました。



いただいた意見を分類わけした例

物や経験を 得られたとき	<p><ほしいものを手に入れたとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンを買ってもらって嬉しかった。(小学生・中学生) ・ 父が好きな物を買ってきてくれたとき。(小学生) <p><いろいろな体験をしたとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの施設に行ったとき。(小学生) ・ 博物館に行ったとき。(小学生) ・ 動物園・水族館に行ったとき。(小学生) ・ 誕生日パーティをするのもされるのも幸せに感じる。(小学生) ・ 旅をするのが好き。(小学生) <p><おこづかいをもらったとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草むしりをしたとき。お小遣いをもらえるから。(小学生)
学習がうまく いったとき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語・漢字の検定試験に受かったとき。(小学生) ・ 成績が良かったとき。(小学生)
健康なとき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康なとき。(大学生年代)

分析してわかったこと

実際の資料

3. こどもの視点や意見の把握
3.3 ヒアリング結果
図表 30 ア. 幸せを感じる状況 主なこどもの意見(抜粋)

カテゴリ	主なこどもの意見(「ア. 幸せを感じる状況」)
A アウトカム	
A1 物質的アウトカム	
旅行での体験・経験(ア-01)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅をするのが好き。歩くのが好きだから、少しの距離なら歩いてしまう。旅に出かけたときは、色々なものを食べる。(③) ・ この施設では合宿がある。その合宿がすごく楽しい。スキー合宿は自分で行こうと思ってもお金がかかるし、準備が大変で行けないが、この施設では企画してくれてお金を払うだけで行ける。一年に一回、スキー合宿でしか滑る機会がないので楽しみ。(⑧) ・ 「わくわく/うれしい/たのしい」の全部に当てはまるのが旅行。自分の家と違うところに泊まったり遊んだりすることがいいと思う。よく沖縄に行かせてもらうが、そのときにふだんと違う発見をしたりホテルの部屋など違う環境で過ごすことはそう感じる。(⑨)
旅行での体験・経験(ア-02)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業体験が楽しかった。(①) ・ 年明けにラーケーション(自主学習のための休暇)を使って海外のテーマパークに行く予定があり、とても楽しみ。(①) ・ 博物館に行ったとき。(③) ・ 動物園・水族館に行ったとき。(③) ・ パーベキューをしたとき。(③) ・ かわいい電車に乗ったとき。(③) ・ キャラクターの施設に行ったとき。(③) ・ 誕生日パーティをするのもされるのも幸せを感じる。ドッキリなどを仕掛けるのが面白い。(③) ・ いろいろな体験をしているとき。わくわくするから楽しく幸せ。(⑦)
欲しいもの をかって もらったとき (ア-03)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンを買ってもらって嬉しかった。(①) ・ 好きな物を買ってもらったとき。ずっと欲しいと思っていたものをただでもらえてうれしく、幸せを感じる。(⑧)
お小遣いを もらったとき (ア-04)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草むしりをしたとき。お小遣いをもらえるから。(③) ・ おこづかいをもらったとき。(③)
A2 身体的健康アウトカム	
身体健康 状態が良い こと(ア-05)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪系をひいている、熱があるなど体調の悪いときは、自分の思ったことができないのが嫌なので幸せではないと感じる。調子が悪くなければこままでできるのにと思ったりする。(⑦) ・ 健康なとき。(⑤)
A3 社会的、情緒的、文化的アウトカム	

2. いただいた意見の活用について



・いただいた意見を分類したカテゴリを、国際機関による分類や、国内の調査項目などと比較して分析しました。



分析してわかったこと

実際の資料

4. 調査のまとめ

4.1 国内既存調査項目とヒアリング結果から見たカテゴリの比較

OECDカテゴリ	こども大綱 別紙1・別紙2の指標	OECD Child Well-being Dashboard	ヒアリング結果から見たカテゴリ	
			カテゴリ名	関連する国内既存調査項目の有無(注1)
住宅	基本的な住まい	・深刻な住居困難を経験している世帯のこどもの割合	・住環境(ウ-01)	
	住宅の広さと質			
レジャー/学習教材	学習教材	・こども特有の物質的困窮を経験しているこどもの割合		
	レジャー	・こども特有の物質的困窮を経験しているこどもの割合 ・自宅にインターネット回線がないと答えたこどもの割合	・旅行での体験・経験(ア-01)	○
			・旅行以外の体験・経験(ア-02)	○
			・欲しいものを買ってもらったとき(ア-03)	○
		・お小遣いをもらったとき(ア-04)	○	
A2 身体的健康アウトカム				
出生アウトカム		・乳児死亡率		
身体的発達	・児童・生徒における肥満傾向児の割合※2 ・児童・生徒における痩身傾向児の割合※2 ・BMI18.5未満の20～30歳代の女性の割合※2	・過体重又は肥満のこどもの割合		
身体的健康状態	・裸眼視力1.0未満の者※2	・WHOが推奨する運動を毎日していると答えたこどもの割合 ・自分の健康状態を「まあまあ」又は「悪い」と答えたこどもの割合 ・健康上の問題により活動が制限されているこどもの割合	・身体的健康状態(ア-05)(イ-01)(ウ-02)143	○
A3 社会的、情緒的、文化的アウトカム				
安全、情緒的安心、基本的情緒欲求	・「どこかに助けてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合※1	・家族から十分な支援があると感じていると答えたこどもの割合	・安心、安全(ア-06)(ウ-03)144	○
			・不安(ア-07)(イ-02)145	○
アイデンティティ、社会的・文化的アイデンティティ、基本的社会的ニーズ	・「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合(自己肯定感の高さ)※1 ・「自分には自分らしさというものがある」と思うこども・若者の割合※1		・自己肯定感(ア-08)(イ-03)146	○
			・アイデンティティの尊重(ウ-04)	○
			・多様性の否定(イ-04)	○
			・対等な扱い(イ-05)	○
			・他者からの承認(ア-09)	○

主にわかったこと

国内で今まで調査していなかったカテゴリはどんなものがありそうか、といったことが分かりました

(○のところ)

その他わかったこと(例)

家族や周囲の人、クラス、推しといった「**つながりが強い他者が幸せであれば自分も幸せ**」という考え方は、**日本の特徴**を表している可能性がある

「周囲の幸せ」とこども本人の幸せがどの程度関係しているかは、重要な観点と考えられる

2. いただいた意見の活用（有識者の気づき）（1/3）



・いただいた意見や分析結果を見て、専門家が意見交換会でどのような感想や気づきを話したのかを紹介します。

いただいた意見

大人の様子

- ・ 将来幸せな人生を送るためには、希望を持てることが一番大事だと考える。社会や将来に対しての不安がある中で、**こども・若者の周りに色々な人がいること、周りの大人が楽しそうに生活していることが**、こども・若者にとっての希望になるので重要であると思う。身近な大人として例えば**家族、学校の先生が楽しそうに働いていたり、家族で楽しそうに料理をして過ごしていたり**ということがあると幸せな人生を送れると思う。
- ・ 高校生にもなると大人の社会についても現実が見えてきて、**働くことが大変そうで大人になりたくないと思うこともあった**。コロナ禍では身近な家族がリモートワークをしている様子を見たが、建前上は減らさなければならぬ残業を長時間しており、社会の闇を感じてしまった。

いただいた意見を見て、専門家が得た気づき

ほうかつき

（周囲の大人を含めた包括的な視点）

・・・こどものヒアリングでも、「こどもは大人の姿を見てい
るため大人が幸せであってほしい」といった意見も
見られた。・・・

こどもの幸せのためには、こどもに関わる人、
こどもの周囲の大人の幸せが重要であり、こどもの周辺
環境として、大人が行うべきこと、大人側が変わるべきこと
が導き出せるような**指標作り**が重要である。

また、指標に対して、こども・若者、子育て当事者の
視点からどのように捉えられるのかについても検討する必
要がある。

報告書211ページに
掲載したよ！



2. いただいた意見の活用（有識者の気づき）（2/3）

いただいた意見

社会の良くない状況

- 生産年齢人口がどんどん減ってきているため、自分が大人になる頃に**社会が大丈夫なのかどうかと不安**になってきている。
- 自分の将来も不安だが、**良くないニュースもたくさんあり、社会や国に対しての不安の方がむしろ大きい**。自分も他の参加者と同様に、地元でこどもたちや地域の**高齢者**の居場所支援を行っている。地元で色々な人と話す中で、自分の事よりも周りの人の事が気になる。それが、自分以外の周りのこどもたちや**社会**のことが気になるということの意味している。



報告書214ページに
掲載したよ！

いただいた意見を見て、専門家が得た気づき

（社会的不安）

ヒアリングからは、**友人、学級、地域、インターネットを通じて見える将来の暗い話から、社会的不安を覚え不幸せだと感じる**ということが示された。「今の自分は不幸じゃないけれど、こんなに苦しんでいる人がいる」ということをこどもは感じ取っており、**大人の世界の影響によってこどものウェルビーイングを下げている可能性がある**。

実際の資料

5.こどものウェルビーイング指標群の整理に内けた提言(有識者意見)
5.5 指標の測定

(相対的な視点から見た貧困)
ヒアリング結果では、絶対的貧困に結び付く物質的アウトカムに関する意見が少なかったことから、日本のこどもは、「もっとしたい」「もっとほしい」という相対的な欠乏感で苦しんでいると考えられる。例えば、ウェルビーイングのために食を楽しみたいといった思いが、相対的な貧困やしつけの厳しさで制限されているような場合が該当する。次のステップでは、このような観点で検討していく必要がある。

(社会的不安)
ヒアリングからは、友人、学級、地域、インターネットを通じて見える将来の暗い話から、社会的不安を覚え不幸せだと感じるということが示された。「今の自分は不幸じゃないけれど、こんなに苦しんでいる人がいる」ということをこどもは感じ取っており、大人の世界の影響によってこどものウェルビーイングを下げている可能性がある。

2. いただいた意見の活用（有識者の気づき）（3/3）

いただいた意見

心の健康

しょうがい

- 心の障害や病気について、他人に開示するのを嫌だと思える人もいないかと思った。学校では「心のアンケート」がある。困っていることや悩みの有無を聞かれて、「ある」と書くと先生に廊下に呼び出されることがあり、話がつつぬけになってしまう。

報告書214ページに
掲載したよ！



いただいた意見を見て、専門家が得た気づき

(心の健康)

「健康」に関する指標について、こどもからは、アンケートの回答内容により先生に呼び出されるのではないかとといったことや、相談時の秘匿性への不安などが挙げられている。他人の前で話しづらいことをどう回答してもらうのか、心の状態、秘匿性は重要な観点と考えられる。

実際の資料

5.5 指標の測定

(心の健康)

・「健康」に関する指標について、こどもからは、アンケートの回答内容により先生に呼び出されるのではないかとといったことや、相談時の秘匿性への不安等が挙げられている。他人の前で話しづらいことをどう回答してもらうのか、心の状態、秘匿性は重要な観点と考えられる。また、健康日本21 171 の指標など、既存のものを活用することも適切と思われる。

⋮

(思ったままに回答しやすくすること)

日本では文化的背景から、こどもが平均よりいい子にみられるように回答をしてしまう強い傾向があるのではないかと考えられる。調査を行う際は、いい子にみられる回答をこどもに求めているわけではないということが分かる設問にすべきである。

みなさんにとっての「幸せ（ウェルビーイング）」や
そのために必要なこと、現在の指標などについて、
一緒に考えてくださって本当にありがとうございました。
みなさんの声から、自分、自分のまわり、社会の中に
さまざまな幸せのヒントがあることや、
「幸せ」はひとそれぞれであることがわかりました。
また、今ある指標についても、こどものみなさんの力に
よって、あらためて多くの気づきと学びがありました。



さらに、みなさんからいただいた意見は、今後も、
こども家庭庁が全国アンケート調査で調べる項目に
ついて考えていくときに、大切に活かしていきます！

こども家庭庁では、これからも、こども一人ひとりにとっての
「幸せ」を大切にしながら、どうしたら
「すべてのこどもが幸せである」社会を実現できるのか、
そのような社会が実現できているのかを知るにはどのような
データを調べていけばいいのかを、こども・若者のみなさんと
一緒に考えていきたいと思えます。

